

当院にて造血器疾患に対してご加療中の方へ

当科では血縁者間同種末梢血幹細胞移植を施行された患者様のうち、移植片対宿主病予防にタクロリムスおよびメトトレキサートを用いた患者様における臨床経過および予後を調査する研究を行っています。

#### 【対象となる方】

2007年4月から2015年10月末までに当院で血縁者間同種末梢血幹細胞移植を施行された患者様のうち、移植片対宿主病予防にタクロリムスおよびメトトレキサートを用いた患者様です。

#### 【研究の目的と意義】

血縁者間造血幹細胞移植における幹細胞ソースは、同種造血幹細胞移植開発初期に行われた骨髄移植ではなく末梢血幹細胞移植が今日では一般的です。血縁者間造血幹細胞における移植片対宿主病の予防についての臨床研究の多くは骨髄移植で行われています。本研究の目的は血縁者間造血幹細胞移植におけるタクロリムスおよびメトトレキサートを用いた移植片対宿主病予防法の有効性を明らかにすることです。

#### 【研究の方法】

この研究は日本赤十字社医療センター倫理委員会の承認のうえ実施されます。なお、すべて過去の検査データを用いるため、新たに患者様にご負担頂くことは全くありません。当院で造血器悪性腫瘍に対して血縁者間同種末梢血幹細胞移植を施行された患者様のうち、移植片対宿主病予防にタクロリムスおよびメトトレキサートを用いた患者様を対象とさせていただき、診断の一環として採取した臨床データや治療経過などの情報を研究に用いさせていただきます。

研究結果は学会や専門誌において公表されることがあります。当研究において研究結果は統計的に処理されますので、個人の特定に至る可能性のある情報は公表されません。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。ご要望があれば、患者様とそのご家族がお読みになるという目的に限り、この研究の実施計画書をご覧いただくことができます。研究の実施計画書は一般公開されていないため、担当医師にご依頼ください。また、この研究の全体の結果は、ご希望があれば担当医師よりお伝えいたします。

この研究のためにご自分のデータを使用してほしくない場合は、主治医にお伝えいただくか、下記の事務局までご連絡ください。ご連絡頂かなかった場合、御了解いただいたものします。

平成 27 年 11 月

#### 【お問い合わせ】

所属: 血液内科

職名: 医師

氏名: 新垣 清登